十一月例会御案内

（平成三十年・通算第三八〇回）

時代を刷新する会

参議院議員会館一階一〇二会議室

○御案内

十一月九日（金）十一時半入館可、正午～午後二時

講題　企業の謝罪会見続発、日本企業は大丈夫か？

講師　橋本久義先生（政策研究大学院大学名誉教授、元通商産業省・工業技術院総括研究官）

◎ここ十年来、日本の大企業が、データを改ざんするなどして、その代表取締役が平身低頭・謝罪会見する事件が続発しております。昨今も、免震装置の大手メーカーが、データの改ざんを行い、予想される大震災を前に、国民一同、愕然としております。

かつて、日本企業は製品の質が良く故障が少ない、と国の内外で培ってきた技術力・信頼性に疑義が生じ、外国からの信頼を失って、貿易収入にも影響するのではないか、と心配になります。

そうした折でもあり、ここは、東京大学工学部精密機械工学科卒業後、通商産業省（現経済産業省）に入省され、その機械情報産業局鋳鍛造課長、中小産業庁技術課長、そして工業技術院の総括研究開発官を勤められるなど、一貫して、日本の大企業や中小企業の科学技術マネージメントについて、指導・監督・管理・評価に携わってこられて、近年の企業の不祥事件を憂えておられ、報道からも意見を求められている橋本久義先生に、その原因と是正策について、御意見をうかがいます。これも重要課題、奮っての御参加、お待ち申し上げます。（清原記）

□当日会費（昼食付き）　会員は三千円、非会員五千円。

時代を刷新する会　http://www.jidaisassin.jp

十一月九日（金）の月例会に

出席　欠席　（いずれかに○印を）

御芳名

貴方様のFAX
メール

電話　03-3272-4320
FAX　03-3507-8587

当日連絡先　080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津
（メール不可・通話のみ）

▽十一月七日（水）までに出欠の御連絡賜りたく。

◎御報告

当団体では、昭和の時代より、日本防衛の重要性から、『防衛白書』が発表されると、担当官をお招きし、その内容について、御解説をいただいてきた。特に、昨年は、北朝鮮が長距離弾道ミサイルを連続発射し、アメリカ・トランプ政権は、これに厳しく対応し、中国とはかなり友好ムードがあった。それに対して今年に入ると、米朝間は、六月十二日にシンガポールにて米朝首脳会談が実現して一転友好ムードとなり、反面、米中間は関税を掛け合うなど貿易戦争に突入、むしろ米中間が一触即発の様相を呈していることから、特に強い関心もってお願いに出た。

十月十二日（金）月例会当日、防衛省から、『防衛白書』の作成担当部署を代表し、品川高浩大臣官房企画評価課長をメインとして、清水翔太白書作成事務室長、同室の高橋英樹二等海佐も随行して下さり、『平成三十年版　防衛白書』並びその解説資料二冊をもって解説が始まった。

その御解説の内容は広範多岐にわたったが、その要旨を記すと、本年の白書の巻頭特集として、①防ぐ（弾道ミサイル防衛）、②務める（二十四時間三六五日の任務）、③備える（進化する防衛力）の三点に関し、それぞれの説明があった。その具体的内容を、すべて記すわけに行かないが、その①では、外部から弾道ミサイルが発射されると、その初期段階で探知・識別・追尾し、情報を一元処理し、上層ではイージス艦、下層ではPAC－3（ペトリオット）で迎撃、さらに近く導入されるイージスアショアで対処する体制である。②では、自衛隊の二十四時間三六五日態勢の任務の紹介とともに、北朝鮮が海上で船舶間物資積替えする「瀬取り」の警戒監視を強化する。③では、最新鋭ステルス戦闘機F－35A、新型早期警戒機、オスプレイ導入等々。

そのあと、「我が国を取り巻く安全保障環境」と題し、北朝鮮、中国、ロシアの情勢等についても詳細な解説があった。御解説は、白書や資料の中のカラー写真・図表・統計を指摘しての分かり易い御説明で感銘し、大層勉強になった。その後、意見交換に入ったが、懇切に応答をくだされた。当方からも、技術の向上、情報流出の防護、戦略の研究等々、御進言申し上げた。（清原記）

▽「時代を刷新する会」とは

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理がそうであったように、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志によって構成されています。八つの部会と、五～六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出しています。

第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄衆議院議長、第四代会長の塩川正十郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・元外務副大臣、前・議院運営委員会理事・党国会対策副委員長。現安全保障委員会委員長が就任している。

▽事務局電話（03）3272－4320　専務理事・清原淳平、総務　重田典子、高津優介